

8 慣用句

プリンター

国語のワーク3・4年生

1 次の「」には、同じ漢字が入ります。「」に合う漢字と「」にあてはまる意味をあとの□からえらんでかきましよう。漢字と意味の□は3ページ目にまとめています。

① 「目」を丸くする。 ( おどろく )

「目」がない。 ( 大好きである )

「目」が高い。 ( 見る目がある )

② 「耳」をうたがう。 ( 信じられない )

「耳」をかす。 ( そうだんに乗る )

「耳」にはさむ。 ( うわさをきく )

③ 「手」を切る。 ( つきあいをやめる )

「手」を焼く。 ( あつかいにこまる )

「手」にあせをにぎる。 ( きんちようする )

④ 「口」をそろえる。 ( 何人も同じことを言う )

「口」が軽い。 ( おしゃべりだ )

「口」がかたい。 ( ひみつをしゃべらない )

⑤ 「顔」が広い。  
（知り合いが多い）

「顔」から火が出る。  
（はずかしい）

「顔」がきく。  
（信用がある）

⑥ 「首」をひねる。  
（なっとくできない）

「首」を長くする。  
（ずっと待っている）

「首」をつっこむ。  
（自分から関係をもつ）

⑦ 「足」を運ぶ。  
（目的地に行く）

「足」がぼうになる。  
（とてもつかれる）

⑧ 「歯」が立たない。  
（かなわない）

「歯」をくいしばる。  
（がまんする）

⑨ 「頭」をかかえる。  
（こまりはてる）

「頭」に入れる。  
（しっかりおぼえる）

8 慣用句

プリント2

国語のワーク3・4年生

1 2 次のページの各文の意味がとおるように「」に、あとの□から慣用句をえらんであてはめましょう。慣用句をえらぶときは、意味を参考にしましょう。慣用句は6ページ目にまとめています。

① あの子にとっては初めての場所なので、「」にちがいない。

慣用句 「 **猫をかぶる** 」

② お前が敵に寝返ろうとしたことは、「」わけにはまいらん。

慣用句 「 **水に流す** 」

③ ちよっとほめられたくらいで、「」んじゃありませんよ。

慣用句 「 **凶に乗る** 」

④ そうじの時間なのに、「」たの？

慣用句 「 **油をうっていた** 」

⑤ てきとうなことを言って「」っておけばいいのですよ。

慣用句 「 **お茶をにごし** 」

⑥ そんなに簡単に「」なんて、スパイ失格ですね。

慣用句 「 **しっぽを出す** 」

⑦ たくさんお年玉をもらった康平くんは、きちんと貯金してお  
くように親から「」られていた。

慣用句「**くぎをささ**」

⑧ 「君も空手をやっているんだ。」

「そうだよ、ぼくたちあんがい「」かもね。」

慣用句「**馬が合う**」

⑨ 弓子さんが、あまりに上手な絵を描いてきたので、クラスの  
だれもが「」だ。

慣用句「**かぶとをぬい**」

⑩ しかし、しだいに弓子さんは、絵が得意なことを「」よう  
になってきた。

慣用句「**鼻にかける**」

⑪ そのくせ、ちゃんとほめてあげないと、すぐに「」ので、  
弓子さんの相手をするのは大変だ。

慣用句「**へそをまげる**」